

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科

ディプロマ・ポリシー

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科では、ディプロマ・ポリシーに基づく能力を修得し、本学学則に基づく授業科目および単位数を修得した学生に対し卒業を認定し、学士（リベラルアーツ）を授与する。

＜教養力＞

- I 幅広い一般的知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から社会の課題を理解できること

＜専門力＞

- II リベラルアーツの総合的、学際的学修分野より複数の分野にわたる専門知識と技能を有すること。その知識を基に課題解決のための企画力、実践力を身につけていること

＜汎用的能力＞

- III 学際的教養に基づいた情報収集・分析力、論理的思考・表現力、コミュニケーション力、問題解決力、自己理解力、主体的行動力、倫理性と自律力、地域貢献力を身につけていること

汎用的能力（ジェネリックスキル）の詳細は以下のとおりである。

＜情報収集・分析力、論理的思考・表現力＞

- ・ 学際的教養に基づく広い視点に立った、的確な状況判断力、柔軟で客観的な論理的思考、そして自らの考えを的確かつ豊かに表現する力を身につけていること。

＜コミュニケーション力、問題解決力＞

- ・ 多様な人々や文化背景を理解し、違いを尊重しながら意見を交わし、他者と協働して課題を解決する力を身につけていること。

＜自己理解力、主体的行動力＞

- ・ 目標実現に向けて、自分自身を冷静・客観的に理解し、主体的に問題や課題に取り組み、解決に向けて、自主的に行動できる力を持っていること。

＜倫理性と自律力、地域貢献力＞

- ・ 急速な変化をみせる社会や多様な価値観を持つ人々のために責任ある行動をとることができ、学際的教養に基づく広い視点に立って社会や地域に貢献する意欲があること。

カリキュラム・ポリシー

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科では、幅広い一般的な知識・教養を身につけ、かつ社会や文化に関心を持ち、多角的視点から社会の課題を理解できるというディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のカリキュラム・ポリシーを定め、これらを基に教育課程を編成している。

- I 幅広い一般的な知識・教養、社会や文化への関心、多角的視点を養うため、基盤教育科目に導入学習、A群（先人の知を受けつぐ）、B群（世界と今を読み解く）、C群（未来をひらく）、キャリア形成、外国語、情報処理および資格基礎科目を開設する

I の科目群の詳細は以下のとおりである。

＜導入学習、A・B・C群＞

- ・ 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会の課題を理解して自分自身のデザインにつながる、幅広い教養を身につけさせるための科目群

＜キャリア形成＞

- ・ 学びの基礎的技能、自立に向けて必要な知識・技能を身につけさせるとともに、地域社会とのかかわり等から社会や人間のもつ課題を理解し、専門の学びを経て社会的・職業的自立へと向かう準備を行わせるための科目群

＜外国語・情報処理＞

- ・ グローバル社会、高度情報化社会を生きていくうえで必要な基本的技能を身につけさせるための科目群

＜資格基礎＞

- ・ 社会教育等の資格の基礎となる知識を身につけさせるとともに、社会の課題を理解させるための科目群

- II リベラルアーツの総合的・学際的学修分野より複数の分野にわたる専門知識と技能、及び課題解決のための企画力・実践力を身につけさせるため、学科専門科目に基礎科目、基幹科目、展開科目および演習科目を開設する

Ⅱの科目群の詳細は以下のとおりである。

- ・ 複数分野をベースに自身の課題を設定する力、その課題を論理的思考を持って解決にあたる力、その過程や結果を他者に論理的かつ明確に説明できる表現力を身につけさせるための科目群
- ・ 日本を基軸として地域や時代の比較を含め社会と文化をより深く理解し、課題解決のためにそれらを用いた企画と実践ができる力を身につけさせるための科目群
- ・ 韓国語を一定程度駆使しながら、韓国社会・文化をより深く理解するための、幅広い専門的知識を身につけさせるための科目群
- ・ 実践的な英語コミュニケーション力を有し、グローバル化する社会について理解を深め、その課題解決のための企画力と実践力を身につけさせるための科目群
- ・ 情報伝達における表現とデータ活用に関する知識と技能を有し、課題解決のためにそれらを用いた企画と実践ができる力を身につけさせるための科目群
- ・ 社会のシステムとマネジメントについて理解を深め、そこでの課題解決のための企画力と実践力を身につけさせるための科目群

Ⅲ ディプロマ・ポリシーで定めた情報収集・分析力、論理的思考・表現力、コミュニケーション力、問題解決力、自己理解力、主体的行動力、倫理性と自律力、地域貢献力を養うための教育方法を授業科目に取り入れる

各科目は以下の教育方法により実施し、また学修成果の評価を行う。

- ・ 「情報収集・分析力」「論理的思考・表現力」「コミュニケーション力」「問題解決力」「自己理解力」「主体的行動力」「倫理性と自律力」「地域貢献力」等の汎用的能力を育成するため、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を用いる。
- ・ 各科目の学修成果は、筆記試験、レポート等提出物、発表と討議等シラバスに明記した内容により、学修目標に即した多角的な方法で評価を行う。
- ・ カリキュラム全体を通した学修成果の達成度を測るため、ディプロマ・ポリシーを具体化した「帝塚山学院大学生の10のちから」を設定し、その達成度について、各学期末に学生が自己評価を行う機会を設ける。

アドミッション・ポリシー

リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科ではディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、入学試験では、学力の三要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を中心に論理的思考・表現への意欲、他者と協働し課題を解決する意思や意欲、公共性と倫理性及び社会貢献への意欲も評価の対象として多様な入学者選抜方式にて公正な選考を実施している。そのためのリベラルアーツ学部リベラルアーツ学科のアドミッション・ポリシーは、以下のとおりである。

＜教養力養成のためのレディネス＞

- I 自身が関わる多様な社会や文化に関心を持ち、さまざまな視点から社会の課題を考え、その解決に取り組むための知識や技能の獲得に意欲を持っていること

＜専門力養成のためのレディネス＞

- II 高等学校等での教育課程を修得し、リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科での学びに必要な基礎学力を有していること

＜論理的思考・表現への意欲＞

- III 自分の考え、思いを適切にまとめ、表現する力を育む素養があること

＜他者と協働し、課題を解決する意思・意欲＞

- IV 多様な人々や文化を理解し、その違いを尊重しながら、他者と協働して課題を解決する態度や意欲を持っていること

＜公共性と倫理性、社会貢献への意欲＞

- V 社会的規範やルールを身につけ、社会や地域に貢献する意欲があること